

三陸復興国立公園

浄土ヶ浜ビジターセンター

NEWS LETTER



撮影場所:白木山

特集 みちのく潮風トレイルを
歩こう! 岩手県釜石市

連載 グラビア 陸前高田市・広田湾
市町村特集

釜石市・大船渡市・陸前高田市・気仙沼市

浄土ヶ浜ビジターセンターだより

三陸海岸 イベント情報

環境省 宮古自然保護官事務所掲示板

2月下旬頃、白木山の日向では春を先取りしたかのように、小さくてかわいいマンサクの花が咲きだします。マンサクの花を見ると「あ〜、春はすぐそこだなあ…」と思うのですが、西の山から吹き込む風はまだまだ冬。植物の方が小さな春の気配に敏感で、そのたくましさに感心させられます。

■マンサク (マンサク科)

マンサクの花は、葉が展開する前に開花します。黄色い線形の花びらの真ん中にあるのは、暗紫色の萼片がくへん。前年枝の葉腋ようえきからでた短い柄の先に数個集まってつきます。マンサクの名前の由来は、枝いっぱい花を咲かせるので「満作」。また「まず咲く」が「まんずさく」となまった、東北地方の方言がルーツという説もあります。



**三陸復興国立公園
公園区域**



大理石海岸

岩手県と宮城県の境界となっている広田湾。宮城県にはリアス海岸の波静かな入り江に、白い大理石海岸が印象的です。また近隣には唐桑半島の巨釜・半道などの景勝地があります。



岩の上に乗って眺める大理石海岸



大理石海岸を対岸に見る



巨釜の折石



巨釜周辺のハマギク



黒崎仙狭の自然歩道から眺める



広田島の日の出



広田島の夕暮れ沖には椿島



半道の海岸線

みちのく潮風トレイルを歩こう！

岩手県釜石市 鶴住居地区～箱崎半島～JR釜石駅



箱崎半島 千畳敷と三貫島

箱崎半島の先端にある御箱崎の南側に、花崗岩の巨大な奇岩が敷き詰められたような、不思議な場所がある。三陸復興国立公園の見どころの一つ。キラキラと輝く南東の波の向こうには、「ひよこりひよたん島」のモデルになったと言われる「三貫島」のシルエットが見えた。(諸説あります) ちょっと足を延ばして立ち寄りたおすすりポイント。大沢遺跡の駐車場から徒歩で約1時間。

みちのく潮風トレイルを歩こう！
手づくりルートマップ

1日目
2日目
3日目

コースデータ ※距離と時間は目安です。
1日目: 鶴住居地区～千畳敷～飯宿 総延長/時間 24.9km/約6時間30分
2日目: 飯宿～両石 総延長/時間 11.4km/約4時間
3日目: 水海総合公園～釜石駅 総延長/時間 10.6km/約6時間



1 「根浜海岸」
三陸復興国立公園の見どころの一つ。三陸ジオパークのジオサイトに指定されたエリアにある。東日本大震災による地盤沈下で、景色が変わってしまったが、穏やかな大槌湾の風景と打ち寄せる波の音は震災前と変わらない。クロマツの松原の中には、東日本大震災を後世に伝える「津波記憶石」が建てられている。

2 「長崎展望台」
箱崎白浜から続く林道の途中にある展望台。展望台の上からは、大槌湾や山田湾を望むことができる。大槌湾は昔から三陸の漁業基地として歴史のある港。湾奥には、南部鼻曲がり鮭が遡上する大槌川や小槌川があり、中世に大槌町に居城を置いた大槌氏が、南部氏に「鮭を捕獲して江戸に送り財を成した」と嫉まれ滅ぼされたという話が残っている。

3 「三陸浜街道」
宮城県気仙沼市から青森県八戸市へ至る、急坂や峠道など難所が多かった街道。かつては「海辺道」と呼ばれ、この道を人や物が行き来した。今回は両石から釜石市内に抜ける鳥谷坂を歩いた。森が一気に開け、釜石市内や釜石大観音が見える風景は、旅の締めくくりにあふさわしい。途中道迷いしやすいので、目印であるトレイルテープの見落としに注意。

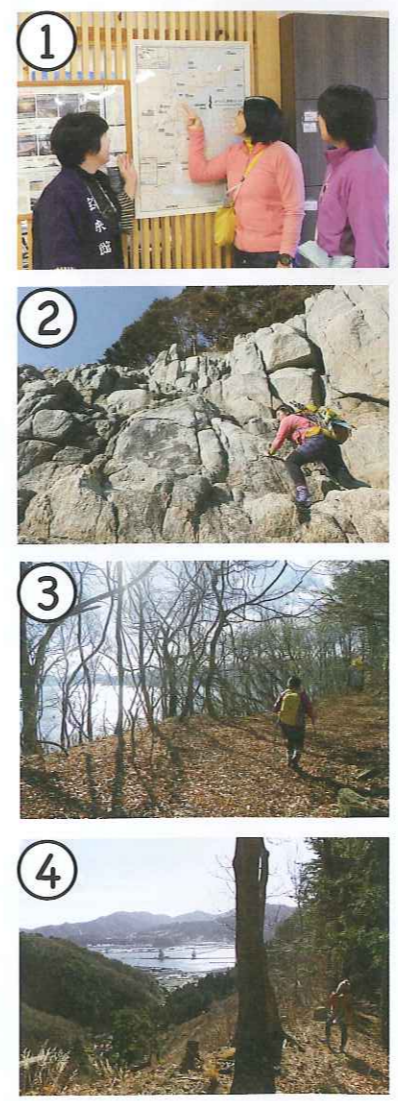
「外ごはん」で地元を食べよう！ ▼今回のメニュー **あつあつ あんかけかた焼きそば**

●材料(2人前の材料)
・かた焼きそばの麺・白菜
・玉ねぎ・にんじん・ピーマン
・豚肉・のしゆ
・塩こうじ(今回は藤勇醸造さんの塩こうじ)・ごま油・水

●道具
バーナー式、コッヘル、スプーン、はし、皿、ジッパー付きビニール袋など

●レシピ
(お家で準備)
☆野菜は食べやすい大きさに切ってジッパー付きビニール袋に入れておく。
☆のしゆを適当な大きさに裂き、塩こうじと一緒にジッパー付きビニール袋に入れて持っていく。
①麺を食べやすい大きさに割り、皿に入れておく。
②ごま油を鍋にひき、豚肉、あらかじめ切っておいた野菜を入れて炒める。
③塩こうじでもどしておいた、のしゆを入れてさらに炒める。
④一度火を止め、水と付属のたれを入れて軽く混ぜ、弱火でとろみがつくまで煮立たせる。
⑤麺の上に④をのせて完成!

POINT ・ジッパー付きビニール袋をうまく使おう!
・出かける前の準備で調理を楽に!



青森県八戸市～福島県相馬市までの海岸線を中心に設定される「みちのく潮風トレイル」。今回は、岩手県釜石市エリアの北部を歩いてきました。

1日目。鶴住居地区でバスを降り、急ピッチで進む復興工事の中を歩いて、今回お世話になる宿「宝来館」へ向かいました。宝来館では、みちのく潮風トレイルのルート情報を教えていただくことができました。箱崎白浜集落の奥へ続く林道入口から40分ほど歩くと展望台があり、上からはアワビ漁から帰って来るさつぱ船が、目印のブイを交わす様子が見えて、風景から季節を感じることができました。大沢遺跡の駐車場から、「箱崎神社」の大きな鳥居をくぐって尾根を歩きます。ここは東北自然歩道「新奥の細道」の一部。木々の間から、右に両石湾や釜石湾、左に大槌湾を望む、なんとも贅沢な尾根歩きとなりました。千畳敷までは、尾根から急な階段を下ります。上からだと、岩のルートが分りにくく、釣り人に聞く場面もありました。カモメ森山を巻いて通る林道は、舗装道路だった道。三貫島を眺めながら歩く道は、「かつての道」と言うのにはもったいない程のロケーション。震災前、番屋が立ち並んでいた大飯宿を道の上から覗き込みながら、1日目のゴール飯宿集落の三貫島神社に到着しました。

2日目は、前日に引き続き、集落同士を結ぶ道を歩きます。昨日にもまして、近くにはつきり見える三貫島や、波が打ち寄せる岬の数々を眺めながらのトレイル歩きは、「これで、みちのく潮風トレイル」といった道で、桑ノ浜まではあつという間に到着しました。桑ノ浜集落は、高台移転の工事中でにぎやかでしたが、小さな港の波打ち際はとても穏やかでした。桑ノ浜からは車道を室浜まで歩き、防潮堤近くの釣具屋さんで2日目の行程を終了しました。

3日目は、水海総合公園からスタート。出発時に宿にお願いしていたお弁当を忘れてしまいました。スタッフさんに届けてもらうハプニングもありました。最終日のメインは散策路から合流する「三陸浜街道」。釜石市内に抜けるこの道は、昔人や物が行き来した歴史がある道です。尾崎神社の真上の尾根からは、一気に視界が開けて釜石市内や釜石大観音を見ることができました。山を下りるとすぐ津波避難路を歩きました。高台からは、震災時に大型貨物船が乗り上げた場所が見え、被害状況の看板もありました。市役所前から釜石駅を目指す途中では、商店街や大町界隈に寄り道しながら腹ごしらえ。駅前を散策して、夕方釜石駅に到着しました。

今回歩いた釜石エリアは、「千畳敷」や「三貫島」などの三陸復興国立公園の美しい海岸景観を見ながら、「三陸浜街道」などの集落と集落を結ぶ歴史の道も歩くことができます。ルートの一部は、以前から地域で行っていた避難路を整備の輪が、トレイルコースの整備に繋がっています。人と人の繋がりが一本の道を結んでいきます。

※さつぱは船・漁師が使用する小型の磯船。



防災を学ぶ いのちの道

MAP-3

東日本大震災で被災した根浜海岸の宝来館の裏山での防災学習。
震災当時この場所に避難した地元住民のガイドを受けながら高台にのぼります。災害時に役立つ火おこしやスープなどの野外調理もあります。
お問合せ 一般社団法人 三陸ひとつなぎ自然学校 TEL 0193-55-4630



釜石の施設

MAP-1

サンフィッシュ釜石

釜石駅に隣接されている、新鮮な魚介類を中心とした生鮮食品店や飲食店等が多数営業している市場です。
近くには様々な特産品の買い物を楽しめる「シープラザ釜石」もあります。
営業時間:午前7時~午後4時
※1月~3月の期間は毎週水曜が休業日
お問合せ
TEL 0193-31-3668



釜石市 市町村特集！ 大船渡市

釜石大観音

MAP-2

高さは48.5mで、内部は13階に分かれ、聖観音や七福神等が安置されています。そして12-13階は観音様の抱く魚の上に出る魚籃展望台(ぎょらんでんぼうだい)になっており、太平洋のパノラマを楽しむことができます。
お問合せ 釜石大観音
TEL 0193-24-2125



碓石海岸観光まつり

MAP-5

碓石海岸レストハウス前で毎年5月上旬に開催されます。郷土芸能、ステージ演奏の他、ご当地グルメ販売など、たくさんの催し物が行われ、大勢の来場者で賑わいます。
【開催日】5月上旬
お問合せ 碓石海岸観光まつり実行委員会事務局(大船渡市商工港湾部観光推進室) TEL 0192-27-3111

大船渡のイベント



スネカ

国の重要民俗文化財に指定されており、毎年1月15日に大船渡市三陸町吉浜で行われる小正月の奇習です。
奇怪な面をかぶった姿のスネカが地区の家々を回り、怠け者や子供たちを叱責するのですが、スネカは縁起の良いものとされ、子供の健やかな成長と五穀豊穡、豊漁を祈っていきます。
お問合せ 大船渡市吉浜地域振興出張所
TEL 0192-45-2001

つばきまつり

MAP-6

「市の花・つばき」、「椿の里・大船渡」をPRすることを目的に、開催される「いわて三陸・大船渡つばきまつり」は今年で20回目を迎えます。
世界13ヶ国550種の椿の競演を楽しむことができます。
開催時期:2017年1月14日(土)~3月20日(祝・月)
会場:世界の椿館・碓石
お問合せ つばきまつり実行委員会事務局(大船渡市農林水産部農林課)
TEL 0192-27-3111



大船渡の味

吉浜鮑

アワビ漁獲量日本一を誇る岩手県の中でも、大船渡市吉浜湾で漁獲されるアワビは、吉浜鮑(きびんあわび)というブランドで、香港や中国では高級食材として最上位の評価を獲得しています。
お問合せ 三印 田村畜養場
TEL 0192-44-3118



碓石埼灯台

MAP-4

末崎半島の先端にあたる碓石岬は、高さ10.5メートルの白い灯台が目印です。付近にある展望台からのリアス海岸は、これぞ三陸と思わせる眺望です。
最近では「日本ロマンチスト協会」と「日本財団海と日本プロジェクト」が共同企画する「恋する灯台プロジェクト」の中で、岩手県では碓石埼灯台が選ばれています。



陸前高田の施設

気仙大工左官伝承館

MAP-10

陸前高田市東部の箱根山麓の市民の森にあります。気仙大工・左官の優れた建築技法を後世に伝える施設であり、気仙大工集団は江戸時代初期に市内小友町で発祥し、家大工でありながら神社仏閣、建具や彫刻までこなすほど技量は高かったと言われています。明治初期の気仙地方の民家を想定して作られた家屋、土蔵が立ち、材料は気仙杉など地元産を使用しています。



箱根山展望台

MAP-10

市民の森として親しまれてきた箱根山。展望台からの景観は三陸のリアス海岸をよく見渡せることができます。今に続く気仙大工と左官の建築技法を伝える「気仙大工左官伝承館」や、「杉の家はこね」では日本有数の長さ(252m)を誇る滑り台があります。アクセスも徒歩や車での移動が可能です。



奇跡の一本松

MAP-8

東日本大震災の復興のシンボルとして残る「奇跡の一本松」。震災以前7万本と言われる高田松原で唯一耐え残りました。平成24年5月に海水による深刻なダメージにより枯死が確認されましたが、モニュメントとして保存整備されています。



旧道の駅高田松原

MAP-7

平成5年に県内2番目の道の駅として登録され、観光案内・売店・体験コーナーなどがあり国道45号線を通る方や市民の憩いの場でした。東日本大震災の津波により被災しましたが、津波の恐ろしさを後世に語り継ぐため、震災遺構として保存されています。

陸前高田の施設

復興まちづくり情報館

MAP-9

震災前の町の様子・震災の状況・復興の状況などが分かるパネル等や映像の他、松原に残っていた被災松の根が保存処理されて展示されています。



陸前高田市
市町村特集
気仙沼市

気仙沼の施設

気仙沼「海の市」

MAP-11

気仙沼の海の幸が出そろう観光物産施設。施設内には物販や飲食店の他にシャークミュージアムや観光サービスセンターがある。シャークミュージアムでは、サメの不思議な生態などを分かりやすく解説。観光サービスセンターでは、市内の観光スポットの紹介を行っており、見どころ情報や食べ歩き・宿泊情報などが得られます。
お問合せ 気仙沼「海の市」/シャークミュージアム TEL0226-24-5755
気仙沼市観光サービスセンター TEL0226-22-4560



唐桑観光ガイドプログラム

MAP-13

唐桑半島の自然を地元生まれ育った唐桑人のガイド有志が案内します。「海との絆」が根付く唐桑の魅力学び、楽しめるプログラムが豊富です。
お問合せ 唐桑エコツアールガイドの会(唐桑半島ビジターセンター内)
TEL0226-32-3029



折石

MAP-14

三陸地域の海岸景観の特徴の一つが奇岩です。この折石は明治三陸大津波で先端の2mが折れたことから名付けられ、高さ16m、幅3mの大理石の石柱で海中から空に向かっての姿は圧巻の一言です。



潮吹岩

MAP-12

長い歳月をかけて浸食された石灰岩の潮吹岩、波が打ち寄せるたびに潮を噴き上げるダイナミックな光景が魅力。



気仙沼の施設

唐桑半島ビジターセンター

MAP-13

三陸復興国立公園・唐桑半島の美しい自然と、ここに暮らす人びとのかかわりを、写真・映像・模型及び津波体験装置などでわかりやすく紹介している施設です。
津波体験館は、三陸海岸に特に関係の深い「津波」をテーマに、映像・音響・振動・送風等を合わせた、全国初の津波の疑似体験館です。
お問合せ 唐桑半島ビジターセンター
TEL 0226-32-3029

三陸海岸 イベント情報(1月~3月)

2017年1月時点の情報です。※詳しくは各お問い合わせ先へお問い合わせをお願いします。

市町村名	イベント名	開催日	お問い合わせ先
八戸市	冬のグルメプログラム	2月5日、12日、18日、25日	種差海岸インフォメーションセンター ☎0178-51-8500
	八戸えんぶり	2月17日~20日	(公社)八戸観光コンベンション協会 ☎0178-41-1661 八戸まちづくり文化スポーツ観光部観光課 ☎0178-46-4040
階上町	早生えんぶり祭り	2月5日	わっせ交流センター ☎0178-88-2709
久慈市	平庭高原スキー場まつり	2月11日	スキー場まつり実行委員会 (久慈市山形総合支所産業建設課内) ☎0194-72-2111
	北三陸くじ冬の市	2月18日	北三陸くじ冬の市実行委員会 (久慈市観光交流課内) ☎0194-52-2123
洋野町	ひろのcolor vol.4	2月11日	ひろのcolor事務局 (ほりまい) ☎080-6027-1153
	ひろの星空教室	2月11日、25日 3月11日、25日	ひろのまきば天文台 ☎0194-77-3377
普代村	鵜鳥神楽「神楽フォーラム&神楽宿」	3月25日	普代村政策推進室 ☎0194-35-2114
田野畑村	サッパ船アドベンチャーズ	通年(要予約)	NPO法人体験村・たのはたネットワーク ☎0194-37-1211
	塩づくり体験	通年(要予約) 1時間・7時間のコースあり	
宮古市	宮古毛ガニまつり	2月26日	宮古観光文化交流協会 ☎0193-62-3534
山田町	しいたけ狩り&牡蠣むき体験もできる山田まん作りモニターツアー(仮)	3月12日	やまだワンダフル体験ビューロー(山田町水産商工課内) ☎0193-82-3111(内線227)
大槌町	第2回おおつちバラエティーショー	2月5日	大槌町コミュニティ総合支援室 ☎0193-42-8718
釜石市	Meet up kamaishi ~釜石の鉄人が案内する観光体験プログラム~	3月18日~20日	釜石シティプロモーション推進委員会 (釜石市オープンシティ推進室) ☎0193-22-2111(内線192)
大船渡市	三陸・大船渡 第20回つばきまつり	1月14日~3月20日	大船渡市役所 農林課 ☎0192-27-3111
南三陸町	志津川湾牡蠣まつり福興市	2月26日	福興市実行委員会事務局 ☎090-7077-2550
	牡蠣・わかめまつり	3月中	
石巻市	マンガタンバレンタイン	2月11日、12日	石ノ森萬画館 ☎0225-96-5055
	マンガタン感謝祭	3月25日、26日	
女川町	女川町復興祭2017	3月19日	女川みらい創造棟 ☎0225-24-8118(担当:今野)

浄土ヶ浜ビジターセンター 3月イベントスケジュール

日時・予約	イベント名・内容・定員	時間・参加料・集合場所など
3月18日(土) 19日(日) 予約不要	ビジターセンタークラフト体験2 木の実や枝を貼り付けて、フォトフレームをデザインしよう。定員各日20名	時間 10:00~11:30/13:30~15:00 集合場所 浄土ヶ浜ビジターセンター 参加料 300円(保険料・材料費込) 作成時間 1時間

2017年4月~(29年度)以降のイベント計画を立案中!!!

たのしく、みんなが参加できるイベントを計画するよ。

★注意★ イベント受付は実施時間の15分前より開始します。・小学生以下の方は、必ず保護者同伴でご参加下さい。
・クラフト体験で5名様以上(子供会や団体など)のご参加の場合は、希望参加日の3日前までにご相談下さい。

浄土ヶ浜ビジターセンターだより

秋のビジターセンター 貝殻とビーズで ストラップを作ろう!

クラフト
体験

カラフルな
ビーズが
いっぱい
迷っちゃう!



11月12日(土)、26日(土)の隔週の土曜日の2日間、ビジターセンターの館内で「秋のビジターセンタークラフト体験～貝殻とビーズでストラップを作ろう～」を開催しました。今回のクラフト体験は、幅広い年齢層の方々に参加していただき、楽しく実施できました。



じっくり作って
出来上がりに満足!!



みちのく潮風トレイルを歩こう! ~てくてく歩こう会~

11月12日(土)に「みちのく潮風トレイルを歩こう! ~てくてく歩こう会~」を開催しました! イベント当日は気持ちいい秋晴れでした。真崎から尾根に上がると、海岸線の向こうに重茂半島などがくっきりと見えました! 自然歩道では紅葉真っ盛り。眼下の青い海、「これぞまさに三陸海岸!」といった風景を見ることができました。沢尻海岸では波打ち際にちょっと寄り道。外洋から打ち寄せる波は迫力満点! お昼は、皆さんとお弁当を食べながら「トレイル話」、また地元より参加された方から、田老地区の復興状況の話聞くことができました。



午後は田老のまちなかを歩き、津波遺構の「たろう観光ホテル」、また駐車場には東日本大震災時に地面がどのくらい移動したかという「地殻変動量」の表示を見学し、あらためて自然の力に驚かされました。



「道の駅たろう」では、仮オープン中の「産直」へ寄り、隣の「キット、サクサク野球場」を眺めながら、防潮堤を歩いて田老駅を目指しました。今回、紹介しきれなかった「田老の見どころ」がまだまだありますので、また歩いてみてはいかがでしょうか。



環境省 宮古自然保護官事務所 掲示板

陸中海岸物語

～歩いてしか行けない本州最東端の絶景～

岩手県宮古市の【本州最東端・鮭ヶ崎】というと、白く堂々とそびえ立つ鮭ヶ崎灯台が知られていますが、灯台の南側に広い岩場があるのをご存じでしょうか。今号では、背よりも高い窪地や岩場の下にある洞窟など、鮭ヶ崎ならではの風景をご紹介します。



くるぶし程度に溜まった水辺には青空と岩が美しく映っています。

岩場の南側には、まるで渓谷の中にいるかのような錯覚を感じられる窪地がいくつもあります。くるぶし程度に溜まっている水は、大雨が降った際に川のように侵食された岩場をつたって海へと流れていきます。

岩場の真下には、高さ・幅・奥行きともに驚くような大きさの海食洞があります。外洋の強い波の力を受けて岩が侵食され、長い年月を経て大きな洞窟ができたものと考えられます。小型船で洞窟内に入れるツアーを行っていますが、風がなく波が穏やかな時しか行くことができません。



鮭ヶ崎にぽっかり空いた大きな洞窟

海上探勝では洞窟内に入れるほか、迫力ある海食崖や岩礁をみることができます。本州最東端・鮭ヶ崎を陸から、海から堪能してみてくださいはいかがでしょうか。

■協力 三陸ジオパーク推進協議会
木村民茂氏(姉吉漁港～鮭ヶ崎間の小型船運行)

TEL 0193-64-1230
TEL 0193-68-2316

■環境省 宮古自然保護官事務所 〒027-0001 宮古市日立浜町11-30 TEL 0193-62-3912 FAX 0193-62-3914



長さ300mを越える広大な岩場は、およそ1億年前の火山活動によって噴出した堆積物でできています。岩場は海面からおおよそ20mの高さにありますが、海が荒れると波が轟音を鳴り響かせながら岩場の高さをも越えてくることがあります。



波風によって侵食されてきた縞模様の岩肌



轟音とともに激しく打ちつける波

岩場では動物などに似た形の奇岩を見つけました。波風が削った天然の芸術ですが、打ち上がった海水に含まれる塩分も一役買っているそうです。不思議ですね。

下を覗いている鳥に見えませんか…?

アクセス

宮古駅→(車で約1時間)→姉吉キャンプ場
姉吉キャンプ場→(徒歩で約1時間10分)→鮭ヶ崎

編集後記

みなさんの地域は、お正月に食べる「お雑煮」、どんな中身でどんな食べ方をしますか？宮古地域では、お雑煮の中の餅を汁から取り出し、胡桃や胡麻などを付けて食べます。三陸は広いので食文化も様々。きっとお雑煮一つとっても色々なのではないのでしょうか。

次年度も三陸復興国立公園の魅力を発信してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

■施設紹介
浄土ヶ浜ビジターセンター
三陸復興国立公園の中核施設として、環境省が整備したもので、三陸復興国立公園の自然や地理、動植物などの情報展示や紹介、公園利用者への案内を行なっています。

■開館時間
4月-10月 8:00～18:00 / 11月-3月 9:00～17:00
■休館日 年末年始
■入館無料
■TEL 0193-65-1690



■アクセス
宮古駅から
浄土ヶ浜行きバス約15分
「浄土ヶ浜ビジターセンター前」下車

浄土ヶ浜VC 検索

